

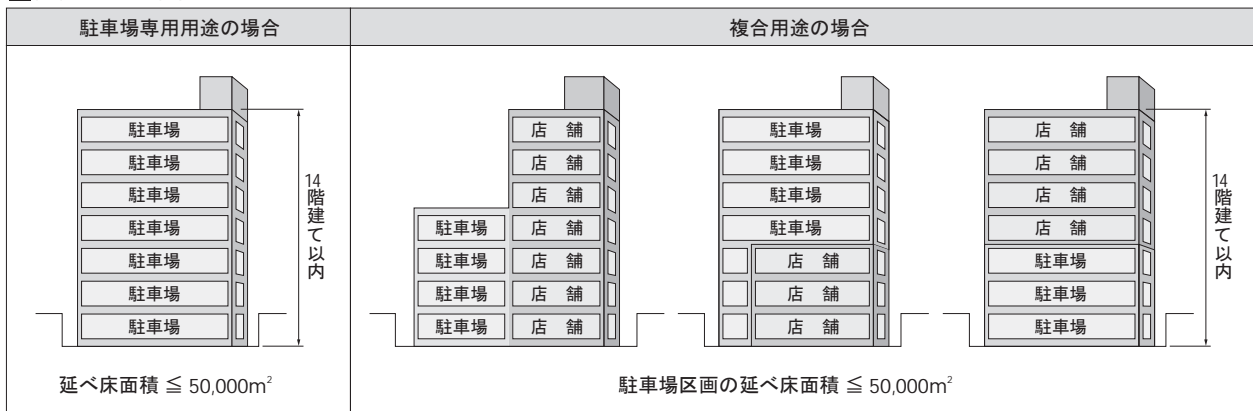
## 自走式駐車場を有する建築物の認定について

開放型の自走式駐車場については、建築基準法施行令第108条の3に基づいた国土交通大臣による認定 無耐火被覆のFR鋼を用いた自走式駐車場を有する建築物の主要構造部の構造方法( NFNN-9927, NFNN-9928 )を取得しており、簡便な方法で無耐火被覆化が実現できます。

### 1. 認定範囲

- 用途: 自走式駐車場
- 規模: 駐車場専用用途の場合: 14階建て以下かつ延べ面積50,000m<sup>2</sup>以下  
複合用途の場合: 14階建て以下かつ駐車場区画の延べ面積50,000m<sup>2</sup>以下

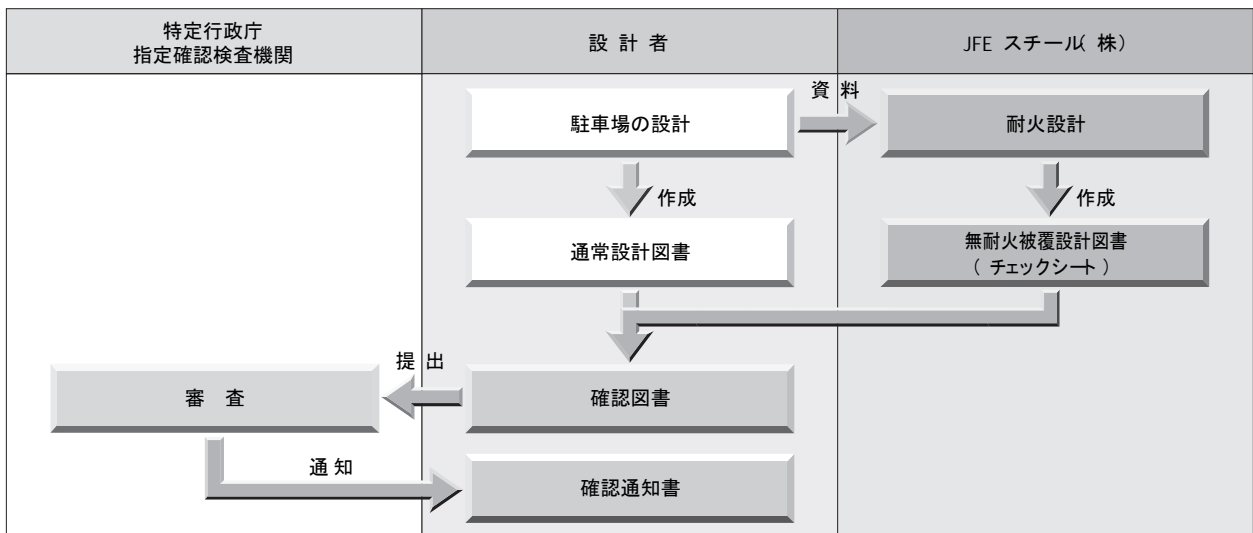
#### ■ 認定の適用範囲例



### 2. 運用体系

認定に基づいた耐火設計 (無耐火被覆設計図書の作成) は、本認定を取得したJFE スチールが実施します。この無耐火被覆設計図書は、確認申請時に通常の確認図書に添付していただくことにより、適用できます。

#### ■ 認定の運用体系フロー



## 3. 耐火設計の主なポイント

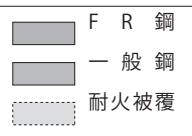
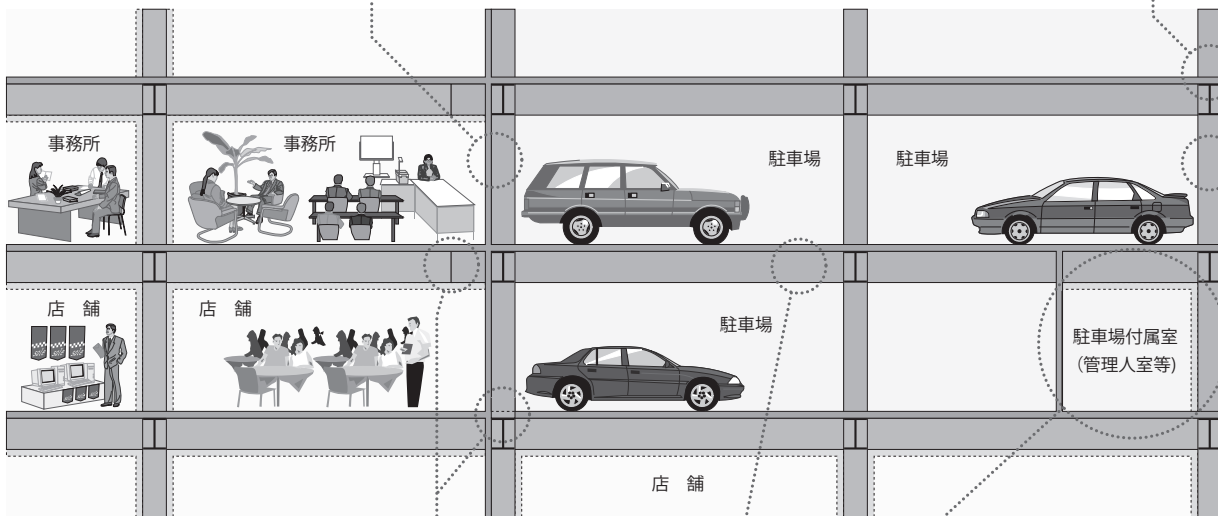
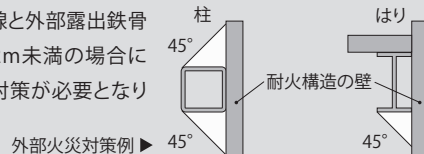
自走式駐車場を有する建物にJFE-FRを使用する場合の主なポイントを以下に示します。  
 その他詳細については、別途お問い合わせ下さい。

### 耐火構造の壁の仕様

無耐火被覆の鉄骨部材は、耐火構造の壁として認められておりませんので、壁と鉄骨部材との取合いを真壁構造とすることができません。防火シャッターについても同様です。  
 また、境界壁は、本認定で定める耐火性能が必要となります。

### 外部火災対策を必要とするケース

隣地境界線と外部露出鉄骨の距離が2m未満の場合に外部火災対策が必要となります。



### FR鋼と一般鋼の継手部

FR鋼からの熱伝導により一般鋼の温度が350℃を超えないような継手仕様とします。

### 駐車場付属室の仕様

駐車場付属室(管理入室等)は、用途・開口条件などに応じて本認定で定める耐火性能が必要となります。

### 構造設計上の主な留意点

[柱]

#### ■最大軸力比

$$\frac{\text{長期軸力}}{\text{基準強度} \times \text{断面積}} \leq \begin{cases} 0.5 (\text{角形鋼管}) \\ 0.55 (\text{H形鋼}) \end{cases}$$

#### ■幅厚比ランク: FAまたはFB (FC, FDは不可)

#### ■部材の無次元化有効細長比

$$\frac{\text{細長比}}{3.14 \times \frac{\text{弾性係数}}{\text{基準強度}}} \leq 1.0$$

[はり]

火災時の耐力チェックは、鉄骨断面または鉄骨と床との完全合成梁で評価します。

### 開放性の確保

駐車状況に応じて防火区画ごとに、外部に面する換気上有効な開口条件を満たす必要があります。